

令和元年 9月27日

保護者・地域のみなさま

横浜市立森の台小学校

校長 忍滑谷 隆

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明します。

保護者・地域のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

1 教科学習状況調査の結果から

<国語・算数の結果>

本校の全体的な傾向としては、横浜市の平均正答率を国語では8ポイント、算数では3ポイント上回っています。正答数分布グラフによると国語、算数とも分布に二つの山がみられます。身に付けている児童と確実には身に付けられていない児童に少し差があると考えられます。

	国語	算数
森の台小学校	71	72
横浜市	63	69
全国	64	67

参考資料；本校・横浜市・全国 国語・算数 各調査結果における平均正答率（％）

◇よい状況と考えられる内容

- <国語>
- 漢字配当表に示されている漢字はしっかりと身に付け、文の中で正しく使うことができます。【問題1四(1)イ. 友達にかざらず】 正しく漢字に直せる。市平均正答率より、+10ポイント高い。
 - 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことが正しくできます。【問題1四(2)】 +11ポイント
 - 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができます。【問題2一(2)】 +13ポイント
 - 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するための質問をすることができます。【問題3一】 +12ポイント
- <算数>
- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できます。【問題1(3)】 +11ポイント
 - 示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができます。【問題4(2)】 +15ポイント

◆指導・改善が必要と考えられる内容

<国語> ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることが若干弱いです。

【問題1二】 +1ポイント

<算数> ・台形について理解ができていません。台形について改めて学習し定着を図ります。

【問題1(1)】 -6ポイント

・示された除法の式の意味を捉えられていません。

【問題3(4)】 -1ポイント

2 質問紙調査結果から（顕著な傾向、横浜市平均との比較より）

○家の人と学校での出来事についてよく話をしています。

○学校に行くのが楽しいと答えている児童の割合が高いです。

○総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習への取り組みがよくできています。

●コンピューターなどのICTを活用した授業の頻度が低いです。

3 学校としての今後の取り組み

（かかわり合い、認め合いを育む活動）

- ・話し合い活動のスキルを身につけ自分の思いを表現できるようになる等、子どもたち同士のコミュニケーション能力の向上を図る授業をさらに充実させます。
- ・自分のまちを大いに意識していけるよう、地域行事やボランティア活動への参加を促していきます。

（魅力ある授業づくり）

- ・学習意欲を高めるため、個々に応じたわかりやすく魅力ある授業を心がけていきます。
- ・ICTを活用した授業の充実を図ります。
- ・高学年では、理科・社会で教科担任制を取り入れるなど授業形態の工夫や実験・観察の授業の充実を図ります。

（落ち着いた生活！あいさついっぱい！）

- ・みんなが落ち着いた雰囲気です学校生活をおくれるようにします。
- ・登下校時、廊下などでも心のこもったあいさつができるように指導を続けていきます。

（高学年としての意識の向上）

- ・ふれあい活動や運動会の係活動などの取り組みにより、他学年との関わりが増え、高学年として自覚を持って取り組む姿が見られます。たてわりの活動を通してなど、高学年としての活躍の場を増やしていきます。
- ・ルールの大切さ、人とのかかわりにおいて大切な心もちなど道徳の授業はもとより、普段からクラスの子どもたちと話をし、更に意識を高めていきます。